

議員が多数を占めており、性やジェンダーの課題



たとえば「包括的性教育」を例に挙げると、これまでの区議会では男性で年配の

加わることで、社会のリアルな声がより届きやすくなったと感じています。

近年の江戸川区議会では、女性や若い世代、そして多様な背景を持つ議員が増えたことで、議会の雰囲気や政策の方向性が確実に変わってきています。これまでなかなか通らなかった意見や、新しい価値観に基づいた提案が、少しずつ実現へと動き出しています。議会に多様なメンバーが加わることで、社会のリアルな声がより届きやすくなったと感じています。

先日、江戸川区で働く女性から「声って本当に届くんだった」と言われ、とても嬉しく感じました。同時に、これまで女性や子どもたちの困りごとが、いかに政治の場で反映されにくかったかを改めて実感しました。

きもっちゃん
の
ひとりごと

江戸川区議会でも、さらに多様な意見や価値観が交わることで、新しい発想や解決策が生まれ、江戸川区の未来をより豊かにする力になるー私はそう強く信じています。

性教育をはじめ、人権や教育の課題が、これまでの固定的な価値観だけでなく、多様な視点から検討されるようになったことは大きな前進です。



しかし今、女性議員や若い世代の議員が増えたことで、ようやくこつとしたテーマが真剣に議論されるようになり、現場の声が政策に反映されつつあります。問題意識を持つ人はほとんどいませんでした。その結果、教育現場や今の子ども・若者の実情に合った議論が行われにくく、政治の中で後回しにされてきたのが現実です。

江戸川区議会のウェブサイトでは、きもと麻由の映像をご視聴いただけます！SNSでも活動を発信しておりますので、ぜひフォローをお願いいたします。

ウェブサイト



エックス



フェイスブック



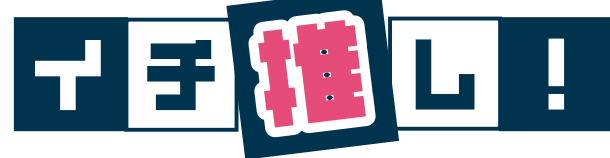
インスタグラム



公式LINE



きもっちゃん



坂口安吾

最近実用書を読む事が多いですが、文学はやっぱり心の栄養です。「墮落論」や「白痴」など有名な作品も良いですが、私のイチオシは「私は海を抱きしめていたい」、「アンゴウ」、「桜の森の満開の下」、「青春論」あたり。どの作品も最高です。



白ビール



日本酒好きのきもっちゃん、白ビールも好きです。普段はベルギービールのヒューガルデンをよく飲みますが、最近のイチオシは三重県の伊勢角屋「ヒメホワイト」。苦味が少なくフルーティーな味わいです。

げんきのもと通信 vol.6



1 新キャラクターのご紹介

きもと麻由のパートナー「まゆメエ」ちゃんが誕生しました！

2 きもと麻由の取り組み

第2回江戸川区議会定例会・一般質問の内容をふまえてお伝えします

3 きもっちゃんのひとりごと 4 きもっちゃんのイチ推し！

江戸川区議会議員

きもと 麻由 Profile

きもっちゃんと呼んでね！

札幌生まれ、みずがめ座のB型。北海道大麻高校を卒業後、アメリカの美術大学 Memphis College of Art に留学しグラフィックデザインを学ぶ。化粧品や香水のプロダクトデザイン、カタログや広告制作など、20年近くデザイナーとして活動。聴覚障がい者の母をもち、フリーランスとして長年活動する中で、政治が社会的に弱い立場におかれている人たちを支援する必要性を強く感じ、政治の道を志すことを決意。2023年4月の江戸川区議会議員選挙にて初当選。趣味はピアノとカイトサーフィン。好きなものは柴犬と日本酒。



まゆメエです

江戸川区と区議会のことをもっとわかりやすく伝えたい！そのため、江戸川区在住のデザイナーさんにかわいいキャラクターを作ってもらいました。まゆメエが疑問に思ったことを、区議会議員のきもっちゃんが答えます。よろしくね！

まゆから生まれたまゆメエは、きもっちゃんと暮らす羊のようせい。かなしい気持ち、くるしい気持ちを食べて笑顔に変える、不思議なのうりょくがあります。

早速、きもっちゃん
の取り組みについて
質問してきましたよ！



お問い合わせ

きもと 麻由 事務所

T.03-6240-5850 F.03-6808-3121

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4丁目15-11



令和7年6月12日の 第2回江戸川区議会定例会・一般質問 で取り上げた 内容をふまえて、「きもと麻由の取り組み」をお伝えします！

**どこもかしこも人手不足。
なのに・・・働きたくても、働けない?!**



最近は若い人たちの離職率が高いつて言われてるけど、本当なのかな?

厚生労働省によると、令和3年3月に卒業した人たちの就職後3年以内の離職率は、高卒・大卒ともに30%を超えているよ。非常に高いと言えるんじゃないかな。



ええっ!若いひとたちが働けなくなる理由ってどんなことがあるの?日本の将来はそれで大丈夫なのかな?!

若い人たちが仕事を続けられない理由としては、「希望する職種・内容の仕事がない」が最も高い割合をしめているけど、「給与が不満」「ストレスが大きい」など様々な要因があるみたい。



たとえば、学校の先生や保育士さんのように子どもたちの教育をしたり、介護士さんのように人をケアしたり、そういった地域を支える人たちの労働条件と賃金が見合っていないことが多いよね。

今回の議会質問では、ファミリーサポートの協力会員や部活動指導員、日本語指導員の待遇改善など江戸川区の行政で改善できることを取り上げただけど、国や東京都の政策から変えないとならないことも多いので、これからも取り組んでいくよ。



江戸川区で働く人たちが、仕事にやりがいと将来への希望を持って、安心して地域づくりに関わっていけるといいね!



第2回江戸川区議会本会議

**子どもたちに家庭でも
学校でもない、第3の居場所を!**



「第3の居場所」って、なんだかかわりにく言葉だけど、どんな子どもたちの居場所なの?

一見なんの問題もなさそうに見える子どもたちでも、実は、生活が苦しかったり、親が精神的に不安定だったりして、いろんな困難を抱える家庭で育っている子が増えてるんだよね。そういう子たちの中には、不登校で学校に行けなかったり、家にも帰りにくかったり、安心して過ごせる居場所がないことが多い。だからこそ、地域の人たちと関わって、安心して話せたり、つながれたりする居場所を作っていくことがとても大切なんだよ。



江戸川区でそういった子どもたちが安心できる居場所を提供している人たちはいるの?

うん、すでにいろいろな団体やNPO法人が子どもたちに居場所を提供する取り組みをしているよ。わかりやすいものは「子ども食堂」だけど、予算や支援内容・こどもの対象年齢が限られていたりするから、この第3の居場所事業(正式には児童育成支援拠点事業*)を江戸川区が取り入れることで、たとえばヤングケアラーのように、外からはわかりにくいけど本当は困っている子どもたちをもっと助けられるようになるんだよ。



なるほど。子どもたちが環境に関わらず、安心して自分らしく生きていけるようになるといいね!

※児童育成支援拠点事業・・・家庭や学校以外に、子どもが安心して過ごせる場所を地域の中につくる取り組み。遊びや学び、相談などを通して子どもたちを見守り、孤立しがちな子どもや支援が届きにくい子どもにも寄り添いながら、地域全体でその成長を支えることを目指しています。



きもと麻由区政報告会

**政策
実現**

**「残念な江戸川区・・・」のイメージを
変える!ブランディング戦略**



江戸川区ってとても住みやすく良いところなのに、「治安悪そう」とか「どこにあるの?」とか、よく言われる・・・

そうなんだよね。実は江戸川区でも「魅力あるまち」としてのイメージアップのために様々な取り組みをしているよ。たとえば、東京藝術大学と協力をしてアートで江戸川区を盛り上げる取り組みや、大手芸能プロダクションのLDHと協力をして、江戸川区をダンスの聖地にするということを行政の政策として行っているの。



そうだったんだ!でも江戸川区に住んでいても、アートやダンスで盛り上げようとしてたなんてぜんぜん知らない・・・大学や芸能プロダクションにお願いするのってお金がかかるんでしょ?

そう、江戸川区長も公言しているように、これからは「人・モノ・カネ」が減っていく。アートにしろダンスにしろ、プロに依頼して終わりではなく、お金をかけずとも区民と連携することでじわじわ認知度を高めていくことだってできるはず。



たとえば、葛西臨海公園で毎年開催されている「SDGsフェス」は、東京ガールズコレクションで有名な株式会社W TOKYOと江戸川区が協力しているのだけど、8,000万円以上の税金が投じられているの。若者を応援する区の取り組みには賛成だけど、税金がどのように使われ、どのような成果をあげているのかを具体的に区民に示す必要があるよね。



なるほど。こういう政策って、存在すら知らない区民も多そうだね。残念な江戸川区じゃなくするために、区民のアイデアがもっと区政に反映されるといいな!



2025年決算特別委員会



江戸川区総合防災訓練